

# CSやってみよう!

地域とともにある“楽しい学校”づくり

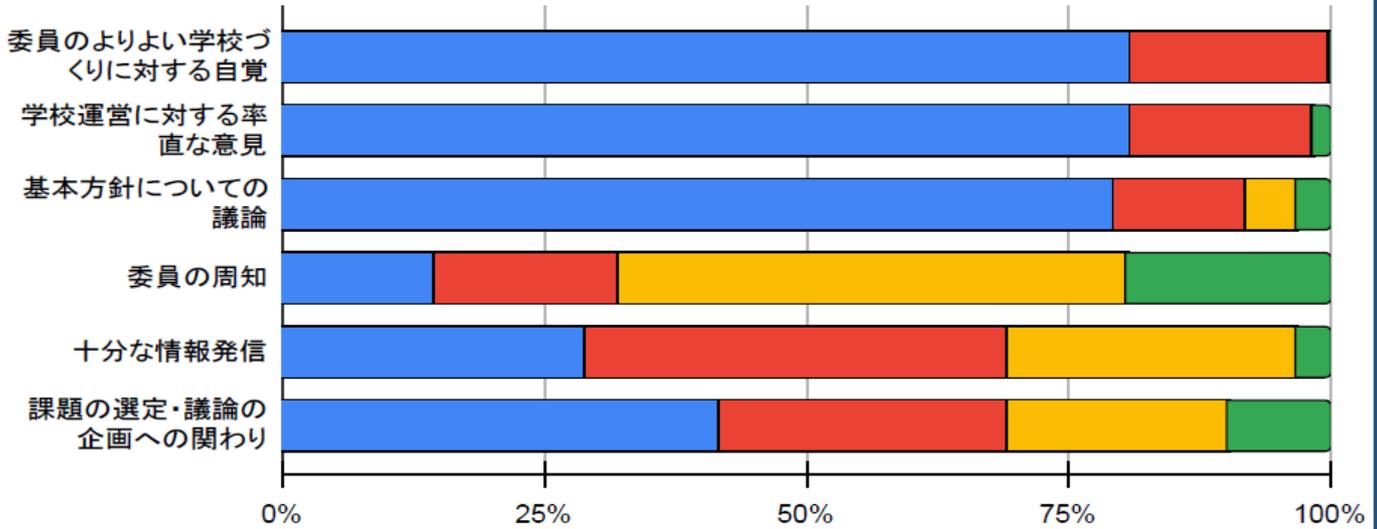


裾野市教育委員会  
学校教育課  
令和5年3月17日

## 学校運営協議会に関するアンケート

〔学校運営協議会委員、CSディレクター 63人回答〕

■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない



学校代表と地域代表が、学校運営や必要な支援に関する協議を行う「学校運営協議会」について、参加メンバーである委員とCSディレクターを対象に、一年間の取組を振り返るアンケートを実施しました。文部科学省が作成したアンケート28項目のうち、今回は上位と下位の3項目を掲載しました。上位3項目からは、参加者の当事者意識の高さや議論に対する積極性が分かります。どの学校運営協議会に行っても熱心な議論がされていて、「子供たちのために何ができるか」「学校をよりよくするためにどうしたらよいか」という意見が多く出されていました。一方、下位3項目からは、学校運営協議会で行っていることが周囲に伝わっていないという課題が浮き彫りとなり、学校運営協議会の役割や内容を情報発信していくことの必要性が分かります。「地域とともにある“楽しい学校”づくり」のためのコミュニティ・スクールを推進していくためには、来年度はさらに、学校運営協議会の議論を活性化し、それを地域の多くの方々に理解してもらうための工夫が必要であることが分かりました。

『**地域の方が、本気で学校や子供たちのことを考えてくれている。**』

～コミュニティ・スクールを始めた学校からの意見をまとめてみました。～



### 【CSのよさ&効果】

- ・ホームページの助言をもらえるなど、様々な意見を直接伺えることで、地域の目線で学校運営を考えることができた。
- ・学校教育目標や方針の承認を得たことにより、学校運営協議会で熟議する目的を共有できた。
- ・学校の応援団として、地域の力を再認識できた。
- ・地域や学校の歴史など、長年に渡って地元に住んでいるからこそ分かることを教えていただいた。
- ・学校運営協議会での熟議から新たな発想が生まれ、地域の方との取組を始めることができた。
- ・CSディレクターが「CS通信」を発行したことで、学校の様子や取組、学校ボランティアの活動を多くの方に知ってもらうことができた。

### 【今後の課題&改善点】

- ・学校運営協議会で話し合われたことが、保護者や地域の方にどれだけ伝わっているか不安になった。
- ・地域と学校がともに目指す「子供像」や「目標やビジョン」がまだ十分に共有できていない。
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の役割分担の整理や連携が不十分だった。
- ・何のためにCSを進めるのか（目的）を共有したい。学校に協力してほしいためにだけにCSを進めるのではないことを教職員も意識して地域の方に関わることができたらと思う。
- ・この活動を継続するためには、多くの試行錯誤が必要。焦らずに時間をかけて進めていきたい。
- ・CSディレクターの存在は欠かせない。

★来年度も、地域と学校が力を活かし合い、コミュニティ・スクールを盛り上げていきましょう!